

防災学習 2017

明石支部では、毎年1月17日の阪神淡路大震災の発生時期に合わせ、小学校で防災学習を行っています。また、最近では、明石高専の学生の方々の協力を得て、講師役を務めていただいています。

今年度も1月17日に稲美町立母里小学校、1月20日に稲美町立天満東小学校で授業を行いました。45分授業の2コマをいただき、前半を私たち建築士会のメンバーが「地震に強い安心な建物づくり」と題してパワーポイントを使って阪神淡路大震災当時の映像やE-ディフェンスの実験風景を見てもらい、その後、組み立てた「紙ぶるる」を使って筋違がある時と無い時で建物の揺れの違いを確認してもらったり、木造軸組を組み立てて筋違の設置による強度の変化を、実際に押して体験してもらったりしました。



阪神淡路大震災当時の様子を熱心に聴く児童（母里小学校）



紙ぶるるを組み立てている児童（天満東小学校）

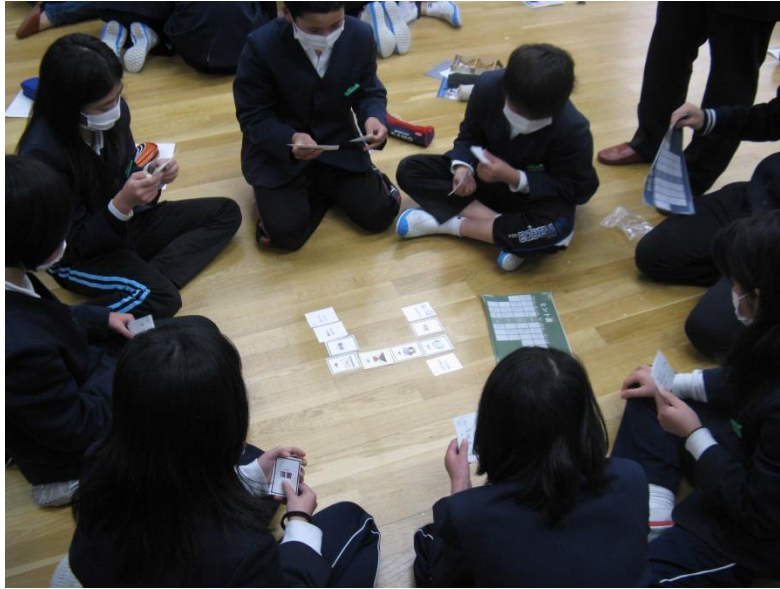


木造軸組みを組み立て児童に揺らしてもらった実験風景（天満東小学校）

後半は、明石高専の学生が「高専生が小学生に教える防災学習～カードゲームを通して防災を学ぶ」と題し講演していただきました。子供たちを6名程度のグループに分けて「地震」「火災」「津波」などが書かれたカードゲームを通じて、それらの災害の事前・事後の対策をトランプの7並べの要領で並べて、災害に対する準備や心構えの重要性を考えていきました。



母里小学校での様子（講師は明石高専生）



防災カードゲームに取り組む児童（天満東小学校）

今後も防災学習を通じて自分の身を守るにはどうすればいいか、また、過去の震災を知ることによって防災や減災に少しでも関心を持ってもらえたらと考えています。最後に母里小学校 5 年生のみなさん、天満東小学校 6 年生のみなさん、そして各学校の先生方、ありがとうございました。